

## 37 大台ヶ原 ―世界でも有数の降水量を誇っています―

暑中見舞いありがとうございました。おかげさまで、まずは元気に過ごしています。

幼稚園も夏休み、子どもたちと保護者に、「夏休みには『手を使う、足を動かす、頭を働かせる』の3つをしっかりと」とお話しされたとか、つつい楽な方へ楽な方へと流されがちな私へのご注意のように思えました。

そこで、大和上市からのバスで国道169号線とドライブウェイを快適に走り、大台ヶ原を歩いてきました。世界有数の雨の量を誇る所ですが、この日はとても良い天気、しかし、温度計は21℃を指していてここ数日の暑さからはまるで極楽のような気がしました。

まずは、ビジターセンターを見学、大台ヶ原のあらましを頭に入れました。「今日はどちらを回られますか」という所員の方の声に「何度か歩いてはいますが、もう歳ですから無理でしょう。コケの散策路でも歩くつもりです」と答えましたら、「昔と違って道が整備されていますから大丈夫ですよ。日出ヶ岳までの往復でもいかがですか」と勧められ、自然観察路マップをいただいて歩き始めました。



所々に、大台ヶ原の動植物についての説明板が設けられています。よく似たトウヒとウラジロモミの見分け方についての説明もありました。平日のことで出会う人もほとんどなく、日出ヶ岳のふもとまで

数人に追い越されただけでした。「ここからは海が見えます」という展望台で少し休憩，残念ながら熊野灘は見えませんでした。ここからは正木峠に向かっての登り道です。しかし，前に来たときと違って遊歩道が整備され，木製の階段が作られています。



大台ヶ原はトウヒの南限としても有名です。このトウヒの倒木とササの群落が独特の景観を作っています。ここにニホンジカが遊んでいます。人懐っこい目でこちらを眺めています。尾鷲辻からまっすぐに進むと牛石ヶ原や大蛇峠(だいじゃぐら)なのですが，中道を通って出発点に戻りました。



もう一度，ビジターセンターへ，ここでトウヒとウラジロモミについてお尋ねし，「説明板だけでなく，それぞれの木にも樹木名を書いた札が欲しいですね」



とお話していたら，「こちらに来てください」と両方が並んでいる所に連れて行ってくださり詳しく説明してもらうことができました。ぜひお出かけください。

追伸 ここにあるトイレには「環境保全のため 100 円程度の協力金をお願いします」と書かれた箱があります。必要分の 100 円玉をお忘れにならないように。（平成 21 年 8 月・幼稚園長を務める敦子さん宛て）

## スポットの案内

大台ヶ原ビジターセンター（電話 07468-3-0312）は入場無料で、「大台ヶ原を知る」「大台ヶ原を考える」などの展示がされて、質問に答えていただけます。開館時間は 9:00～17:00、冬季は閉鎖されます。

## 理科のワンポイント「降水量と雨量計」

降水量というのは地表に降ってきた水の量のことで雪やあられなどの氷を含みます。降った水の体積を単位面積で割って求め、表示の単位はmmです。降水量が 100 mmということは雨などがどこにも流れなかったら一面に 10 cm貯まるということです。

学校などで使われている雨量計は、直径 20 cmのろうと型をした受水器から入った雨を貯めておいて観測の都度、その量を計ります。受水器の面積は  $10 \times 10 \times 3.14$  で  $314 \text{ cm}^2$ 、これをメスシリンダーの形をした特製の雨量ますで計ります。

この雨量ますの断面は受水器の面積より狭いので、目盛りは大きく見やすくなっています。

右の写真は奈良地方気象台で使われている、時間ごとの降水量を知ることのできる転倒ます型雨量計です。

